NIPPON ANTENNA

取扱説明書

UHF混合器

UHF(14・16・20～28ch)／UHF(30～62ch)用

MODEL
MXC(14・16・20−28/30−62)

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特 長

1. 本製品はスイッチ加算ATTにて、ch16を「0、5、10、15dB」、ch20～28を「0、5、10、15dB」それぞれ単独にて可変させることができます。
2. ch14～ch28とch30～ch62を混合することができます。
3. 小型軽量な防水アルミダイキャストケースを使用していますので、漏洩に対して優れた遮蔽性能を有しております。
4. 機構的にも堅牢で耐候性に優れており、腐食などに対しても長期の使用に耐え得るよう、充分に考慮されています。

●出荷時の設定　ATT OFF

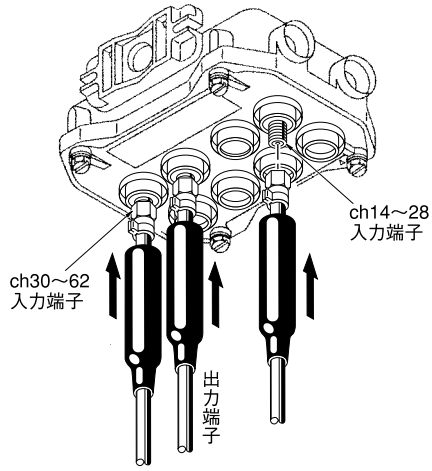
●付属品　防水キャップ　3本
　　取付金具　1組

■標準性能表

項目	性能			
周波数帯域(ch)	14	16	20−28	30−62
挿入損失(dB以下)	6			6
阻止帯域減衰量(dB以上)	18			18
入力レベル調整[ATT](dB)	——	0～15 (5dBステップ)	0～15 (5dBステップ)	——
出力VSWR(以下)	4.0			3.0
入力・出力インピーダンス(Ω)	75(F型)			
使用温度範囲(℃)	−20～+40			
外形寸法(mm)	高さ86.5　幅151　奥行109			
質量(g)	700			

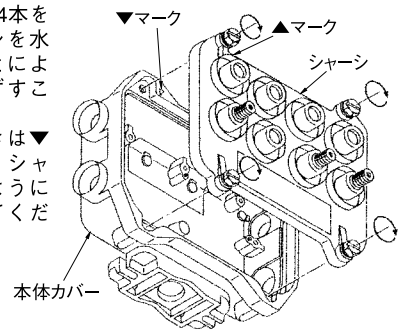
●入出力端子間電流通過　最大DC15V・0.5A／AC30V・1A
※入力レベル調整[ATT]は単独可変

●接続端子の名称および接続方法



●シャーシの取りはずしかた

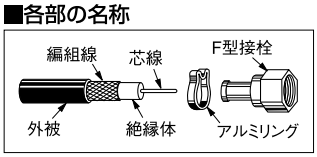
シャーシ側のねじ4本をゆるめ、シャーシを水平に引き抜くことにより簡単に取りはずすことができます。
再度取付けるときは▼マークを合わせ、シャーシが傾かないように注意して取付けてください。



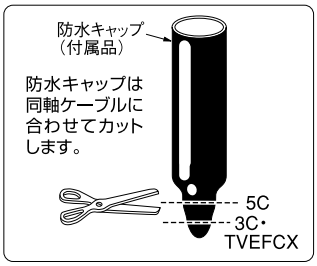
■同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法(別売品)

◆用意するもの
カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

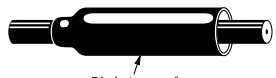
■各部の名称



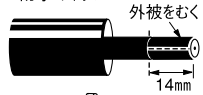
●アルミ箔付同軸ケーブル(FB型)の場合、アルミ箔は絶縁体と同様に加工してください。



防水キャップは必ず先に同軸ケーブルに通してください。

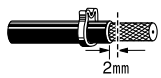


❶ カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1㎜程度)

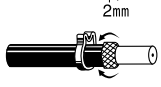


❷ 外被をむき、アルミリングを通しておきます。

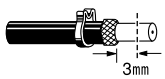
❸ 外被から2㎜程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。



❹ 編組線をめくりあげます。

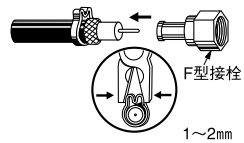


❺ 編組線から3㎜はなして絶縁体を切り、抜きとります。

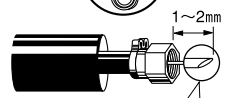


●F型接栓締付トルク　2.0N・m(約20kgf・cm)

❻ F型接栓を絶縁体(アルミ箔)と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。



❼ 芯線の先端は1～2㎜出し、斜めにカットしてください。
芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



ポイント

●絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線と編組線が接触していないかをご確認ください。
●芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにとってください。
●芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。
(※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。)

⚠注意　加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬケガの原因となります。

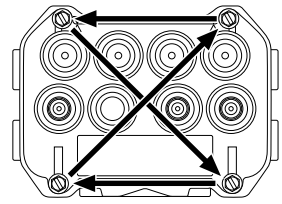
日本アンテナ

■電流通過時の注意事項

本製品は全端子電流通過型となっておりますが、ご使用にあたっては以下の事項をお守りになった上でご使用ください。アンテナの接続端子まで電流が流れますと電源がショートする可能性があります。

1. 両入力端子へ電流通過させる場合
   ⇒そのままご使用ください。
2. ch30～62入力端子と出力端子間のみ電流通過させる場合
   ⇒基板内の電通コイルCH1（ch14～28端子側のチョークコイル）をニッパーなどで取りはずしてください。
3. ch14～28入力端子と出力端子間のみ電流通過させる場合
   ⇒基板内の電通コイルCH3（ch30～62端子側のチョークコイル）をニッパーなどで取りはずしてください。
4. 両入力端子とも電流通過させない場合
   ⇒基板内の電通コイルCH1および電通コイルCH3の両方をニッパーなどで取りはずしてください。

●ビスの設定



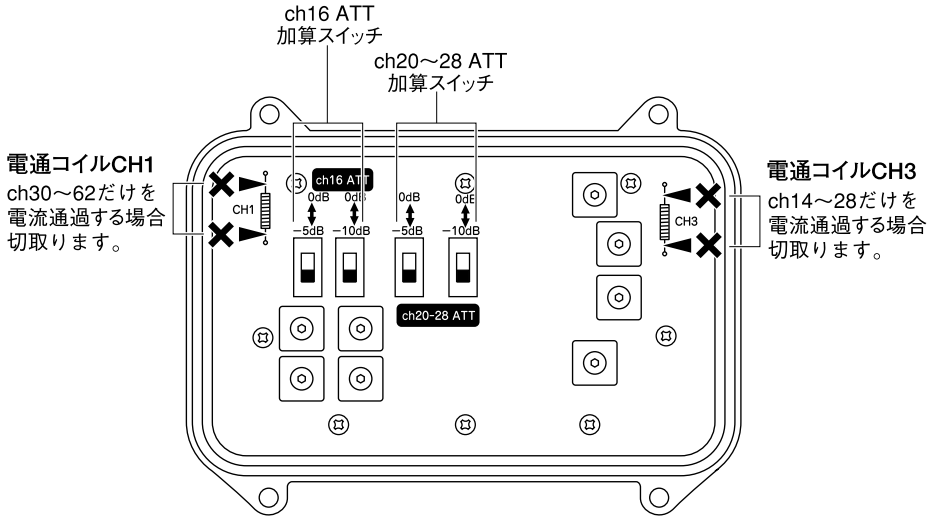
本器は調整時に蓋を開けますので、出荷時は緩めに閉めています。調整終了後は、4本のボルトを対角線方向に徐々に締付けてください。基準のトルクで均一に締付けてください。

●締付トルク

蓋のボルト：2.0～3.0N･m（20～30kgf･cm）

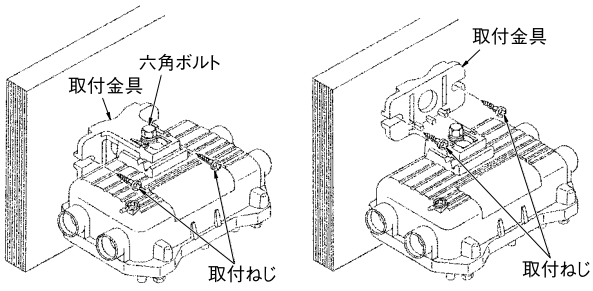
■各スイッチの説明

1. ch16 ATT加算スイッチ
   ⇒2つのスイッチで0，－5，－10，－15dBを単独に可変することができます。
2. ch20～28 ATT加算スイッチ
   ⇒2つのスイッチで0，－5，－10，－15dBを単独に可変することができます。

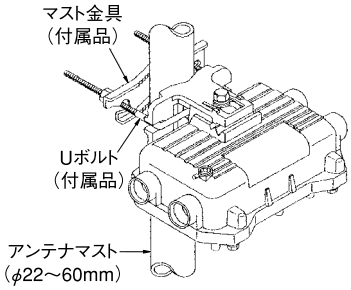


■取付かた

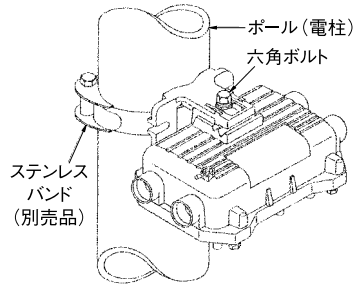
●壁面取付の場合



●マスト取付の場合



●ステンレスバンド取付の場合



情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03)3893-5221(大代)

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D834000910　平成19年10月改訂